

「7.3」「7.17」——権力との闘争

導入部

「7月3日」「7月17日」は、広宣流布の団体である創価学会と、その前進を阻もうとする権力の魔性と
の闘争において重要な意義を留める日です。弟子である私一人ひとりが、三代の師弟の正義の大闘争に
学び、誓いも新たに出發しましょう。

1枚目／「大阪事件」 （8枚目の絵の裏に貼る）

昭和32年（1957年）7月3日、当時、青年室長として指揮をとっていた若き日の池田先生が、事実無根の
容疑で不当に逮捕されました（大阪事件）。

この年の4月、参議院大阪地方区の補欠選挙で、一部の学会員が選挙違反の容疑により逮捕。検察は、逮捕
された学会員を強引に取り調べ、「池田室長の指示で選挙違反を行った」との虚偽の供述をさせ、池田室
長に大阪府警察本部への出頭を命じたのです。

2枚目／炭労問題の渦中での出頭要請 （1枚目の絵の裏に貼る）

そのころ池田室長は、北海道の夕張にいました。

当時、勢力を誇っていた夕張炭労（炭鉱労働組合）が、学会の急速な発展を妬み、現地の学会員を不当に
弾圧しました。第二代会長戸田先生は、炭労の弾圧から学会員を守るため、愛弟子の池田室長を北海道に派遣
したのです。

北海道で大阪府警への出頭要請を知った池田室長は、7月1日、2日と、炭労に抗議する大会を行い、夕
張の学会員に勇気と確信の火をともし、大阪に向かいます。

3枚目／羽田空港での師弟の姿（2枚目の絵の裏に貼る）

7月3日、大阪府警に出頭するため、池田室長は北海道の千歳空港を出発します。途中、乗り継ぎのために降りた羽田空港の待合室には、戸田先生が待っていました。

迫害を一身に受け、権力の魔性との戦いに向かおうとする池田室長の身を案じた戸田先生は「死んではならんぞ。大作、もしも、もしも、お前が死ぬようなことになったら、私もすぐに駆けつけて、お前の上につぶして一緒に死ぬからな」と、命を振り絞るように語り、池田室長を見送りました。

4枚目／出獄と入獄の日に師弟あり（3枚目の絵の裏に貼る）

大阪府警に出頭した池田室長が、公職選挙法違反の容疑で投獄されたのは、7月3日の午後7時ごろでした。

この12年前の昭和20年（1945年）7月3日のほぼ同じ時刻、戦争に反対し軍部政府に不当に逮捕されていた戸田先生は、2年に及ぶ獄中闘争を貫いて出獄しました。

のちに池田先生は「出獄と入獄の日に師弟あり」と詠み、創価の師弟を貫く深き縁と、権力の魔性と戦い抜く精神をとどめたのです。

5枚目／東京大会（4枚目の絵の裏に貼る）

7月12日、池田室長の即時釈放を求める東京大会が緊急に行われました。さらに戸田先生は、衰弱した体を押して、自ら大阪地方検察庁へ抗議に出向きます。

獄中で池田室長は、厳しい取り調べにも屈することなく、無実を主張しました。そこで検察は、罪を認めなければ戸田会長を逮捕すると、池田室長に迫ったのです。

“お体が衰弱した戸田先生が投獄されるようなことがあってはならない”——池田室長は苦悩の末、師匠と学会を守るため、身に覚えのない罪をいったんは認め、裁判の場で無実を証明することを決心します。

6枚目／^{おおさかたいかい}大阪大会（5枚目の絵の裏に貼る）

7月17日の^{しょうごす}正午過ぎ、^{いけだしつちよう}池田室長は^{おおさかこうちしよ}大阪拘置所から^{しやくほう}釈放されました。^{とだせんせい}戸田先生は「^{たたか}戦いはこれからだよ。
^{ごほんぞんさま}御本尊様はすべてわかっていらっしゃる。^{しょうぶ}勝負は^{さいばん}裁判だ。^{さいばんちよう}裁判長は^{かなら}必ずわかるはずだ」と、^{かくしん}確信に満ちた言葉
で^{げきれい}池田室長を激励します。

午後6時から、^{おおさかふけい}大阪府警・^{ちけん}地検に^{こうぎ}抗議する大阪大会が^{なかのしまこうかいどう}中之島公会堂で^{かいさい}開催され、^{ししく}池田室長は師子吼します。
「^{さいご}最後は、^{しんじん}信心しきったものが、また、^{ただ}正しい^{ぶつぽう}仏法が、^{かなら}必ず^か勝つという^{しんねん}信念でやろうではありませんか！」

7枚目／^{さいばん}裁判で^{せいぎ}正義を^か勝ち取る（6枚目の絵の裏に貼る）

^{むじつ}無実の罪で^{つみ}起訴された^{きそ}池田先生が、その後の^{いけだせんせい}裁判で^ご正々堂々と^{さいばん}真実を^{せいせいどうどう}訴えたことによって、^{しんじつ}戸田先生の^{うった}確信
の通り、^{とだせんせい}検察側の^{かくしん}矛盾点が^{とお}明らかになっていきました。

^{ふとうたいほ}不当逮捕から4年半が^{けいか}経過した^{しょうわ}昭和37年（1962年）1月25日の^{だい}第84回^{こうはん}公判で、ついに^{いけだせんせい}池田先生は^{むざいはんけつ}無罪判決
を勝ち取ります。^{こうそ}検察は^{だんねん}控訴を^{かくてい}断念し、^{こうふ}無罪が^{とじよう}確定。2月8日、^{こうふ}広布旅の^{とじよう}途上である^しエジプトでその知らせを
受けた^{いけだせんせい}池田先生は、^な亡き^{おんし}恩師・^{いけだせんせい}戸田先生に^{おも}思いをはせ、^{せかいこうふ}世界広布への^{あら}新たな^{ぜんしん}前進を^{ちか}誓いました。

8枚目／^{こうせん}広宣流布は^{ほとけ}仏と^ま魔との^{たたか}戦い（7枚目の絵の裏に貼る）

「^{おおさかじけん}大阪事件」での^{いけだせんせい}池田先生の^{むざいかくてい}無罪確定は、^{がつかい}学会の^{せいぎ}正義を^{まんてんか}満天下に^{しめ}示す、^{おお}大きな^{しょうり}勝利でした。

^{せんじ}戦時下の^か軍部政府に^{ぐんぶせいふ}抵抗し、^{ていこう}殉教した^{じゆんきよう}初代会長^{しよだいかい}牧口先生と^{とも}共に^{ごくちゆうとうそう}獄中闘争を^{つらぬ}貫き、7月3日に^{しゅつごく}出獄した
^{だいにだいかい}第二代会長^{とだせんせい}戸田先生。そして、同じ7月3日に^{にゆうごく}入獄し^{はってん}学会の^{おそ}発展を^{けんりよく}恐れる^{さくぼう}権力の^う策謀を^{やぶ}打ち破り、^か勝って
^{せいぎ}正義を^{しょうめい}証明した^{だいさん}第三代会長^{いけだせんせい}池田先生——。三代会長が^{ましよう}貫いた^{とうそう}権力の^{ましよう}魔性と^{とうそう}の闘争は、^{こうせん}広宣流布が^{ほとけ}仏と^ま魔との
^{かんだん}間断なき戦いであることを^{わたし}示しています。^{わたし}私たちはこの三代会長の^{せいしん}精神に^{まな}学び、^{くつ}どんな^{つよ}魔にも^{つよ}屈しない強い
^{じぶん}自分^{じしん}自身を^{きず}築いていきましょう。

^{けつい}決意など